

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月31日	作成者名	金子 泰久	評価者名	小森 敏
-----	------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・都市計画課
分野	06 景観形成	関係課	
施策	59 公共施設等の景観形成の推進		
施策の目的	美しい景観を備えた公共施設等の整備を進めることによって、市民や利用者が親しみを持って公共施設を利用できるようにするとともに、率先しておしゃれなまち並みを形成します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	景観調整事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
都市景観アドバイザーの相談件数	景観アドバイザー制度を利用した公共施設等の景観相談件数(累計総数)	件	178	153	159	169	174		
おしゃれなまち並みの形成数	景観改良された公共施設等(学校・保育園など建築物)の件数(累積総数)	施設	56	46	51	53	55		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	公共施設等が魅力ある都市空間やおしゃれなまち並みを先導していくためにも、今まで以上に景観に対する意識の共有が必要である。 また、まちの玄関口である駅周辺については、景観づくりの効果が高い地区であるため、市民や来訪者がおしゃれなまちを感じられるような整備が求められている。 しかしながら、公共施設の整備については、公共施設中長期保全計画等に基づき長期スパンで行われるため、施設整備に併せた景観づくりも長期的な視点で取り組む必要がある。	対応策	公共施設等の新設や更新等を行う際には、早期の段階で景観アドバイザーを活用し、専門家の意見を積極的に取り入れる。 また、施設整備による景観形成が推進できるよう、事業担当者と調整を行うとともに、連携を密に取りながら実施していく。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性 (シート作成次長記入)

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	景観アドバイザー個別相談については、公共施設整備で5件の相談依頼があり、外壁等の色彩の選定や、施設内のサイン計画等の個別相談を行った。 早期の段階で景観アドバイザーを活用し、専門家の意見を積極的に取り入れながら、施設整備による景観形成を推進している。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	公共施設等が地域の景観形成に与える影響を考慮し、今後も施設整備等が計画される早期の段階から、庁内外の枠を超えて調整を図る必要があるため、人員は現状を維持する。 また、予算については、景観計画の見直しに伴い、景観届出の事前協議制度とあわせて景観アドバイザーから助言を受ける仕組みを導入する予定のため、予算としては増加となる。
↑		

(評価者コメント)

周辺の景観に配慮した公共施設を整備することは、民間の開発に対する先導的役割を担うことにもなるため、大変重要な取り組みである。今後も、早期の段階から関係各部署との連携を図るとともに、景観アドバイザー制度等を活用し、そこで得た助言等を工事施工へ反映することで、良好な景観の形成に努めていく。 なお、令和3年度から、本施策及び施策60を施策58に統合する予定である。
